

SDGs 未来都市等進捗評価シート

徳島県上勝町

2019年8月

SDGs 未来都市計画名

上勝町 SDGs 未来都市計画

1. 全体計画

計画タイトル	上勝町 SDGs 未来都市計画
2030年のあるべき姿	①彩山(いろどりやま)を活用した産業振興②農林水産業における新規就業者の促進③ゼロ・ウェイストブランドを活用した循環型まちづくり ④四季を通じた滞在型観光と体験型交流の促進⑤若者の就職支援と後継者の育成⑥持続可能な美しいまちづくりの推進 ⑦ゼロ・ウェイスト施策の推進⑧生涯現役で活躍する健康長寿の形成

2030年のあるべき姿の実現に向けた優先的なゴール	経済	社会	環境
	2.3、2.4 8.3、8.9 15.2   	3.4 4.4 8.3、8.9 11.c 15.2     	9.4 12.5、12.a 13.2 17.7、17.17    

優先的なゴール、ターゲットに関する KPI	No	指標名 ※[]内はゴール・ターゲット番号	当初値	2030年	進捗状況や課題等 (定性指標や補助指標等を含む)
	1	葉わさび出荷数量【2.3,2.4,15.2】	2017年4月～2018年3月	8,787 kg	2018年4月～2019年3月 12,000 kg
2	林間葉わさび作付面積【2.3,2.4,15.2】	～2018年3月	0 m ²	～2019年3月 1,000 m ²	200m ² 彩山事業で事件圃場整備
3	新規就農者数【8.3,8.9】	2015年9月～2018年3月	5 経営体増	2015年9月～2019年3月 15 経営体増	5 経営体増 彩山事業にて粘り強く研修を実施
4	新規起業家人数【8.3,8.9】	2015年9月～2018年3月	5 人	2015年9月～2019年3月 15 人	9 人 ローカルベンチャー事業でフォローしていく
5	起業家型人材の地域へのマッチング数【8.3,8.9】	2015年9月～2018年3月	9 人	2015年9月～2019年3月 15 人	14 人 ローカルベンチャー事業でマッチング継続中
6	ヘルスツーリズム受入数(年間)【3.4,15.2,8.9】	2017年4月～2018年3月	0 人	2017年4月～2019年3月 300 人	9 人 ヘルスツーリズム第1回目を開催し大好評につき秋プログラムを調整中
7	町の資源を活用した健康プログラム開発件数【3.4,15.2,8.9】	～2018年3月	0 件	～2019年3月 15 件	1 件 上記ヘルスツーリズム内に森林空間そのものを資源ととらえたプログラムの構築に成功
8	ローカルベンチャースクール開催数【4.4,8.3】	2017年4月～2018年3月	4 回/年	2017年4月～2019年3月 4 回/年	0 回 事業コンソーシアムを再構築し、再開に向けて協議中
9	町産材を活用した建築物の増【11.c】	2018年3月	0 件	2019年3月 5 件	0 件 新ゴミステーションを町産材を活用して建設中
10	ゼロ・ウェイスト関連新規事業所数【9.4,12.5,12.a,13.2,17.7,17.17】	2015年9月～2018年3月	4 事業所	2015年9月～2019年3月 15 事業所	4 事業所 新ゴミステーションの中にシェアオフィスなどを併設し受け入れ体制を強化している

	No	指標名 ※[]内はゴール・ターゲット番号	当初値	2030年	進捗状況や課題等（定性指標や補助指標等を含む）
優先的なゴール、ターゲットに関する KPI	11	ごみのリサイクル率【9.4,12.5,12.a,13.2,17.7,17.17】	2017年4月～2018年3月 79%	2017年4月～2019年3月 85%	80.3% 継続した取り組みを実施中
	12	くるくるショップの横展開数【9.4,12.5,12.a,13.2,17.7,17.17】	～2018年3月 0件	～2019年3月 10件	2件 調査したところ、下川町でくるくるショップを参考にした取り組みが始まっている。また、マレーシアのジョホールバルのステラモールにて上勝町視察に訪れた担当者が理念に共鳴し「KuruKuru」と名付けた再利用品交換所を作成。
	13	企業版ふるさと納税寄付企業数【9.4,12.5,12.a,13.2,17.7,17.17】	2017年4月～2018年3月 0社	2017年4月～2019年3月 5社	0件 持続可能な連携のため調査、協議中

行政体内部の推進体制	自治体SDGsの情報発信・普及啓発の取組状況・課題	有識者からの取組に対する評価
<p>■各種計画への反映状況や課題 地域創生総合戦略に盛り込むべく、地域創生戦略会議を実施中</p> <p>■行政体内部の執行体制及び首長のリーダーシップ SDGsに沿った取り組みを加速させるため、SDGsの項目から新たなマイプランを立案する職員研修を開催し、職員が自ら調査し、課の取り組みを超えた事業ができる体制作りを始めている</p>	<p>■広報・町民運動会・折り込みチラシ 広報で半年間に渡りSDGsについて掲載。SDGs推進委員会の各回の状況も折り込みチラシで周知。町民運動会では体育協会が自らSDGs未来都市に選定されたことを運動会のプログラムで周知。</p> <p>■SDGs推進委員会ヒアリングによる周知 ビジョン策定時に町民ヒアリングを実施している。ヒアリングをすること事態がSDGsを知るきっかけにもなっている。</p>	<p>・地域資源を最大限に活用した葉っぱビジネスは、既に就労人口の増加、所得向上に大きな成果を出しており、これにヘルスツーリズム、健康プログラムを加え、交流人口強化を図ることで、活性化を図ろうとする計画は、規模は小さいが着実に成果を生む計画として評価できる。</p> <p>・経済にかかわる事業が先行して進捗しており、この点は高く評価できる。社会、環境の進捗はこれからの課題であるが、むしろ経済からの波及が予想され、期待できる。</p> <p>・SDGs推進委員会が着実に動き出し、町内におけるSDGsの周知に特に力が入れられており、望ましい取り組みである。このような地方創生を含めた住民主導型も動きは上勝町らしいものであり、これが今後三側面の統合の契機となるような活動に発展することを期待する。</p> <p>・課題となるのは新プロジェクトの要となる人材の確保であり、今後具体化していくことを期待する。</p>
ステークホルダーとの連携	地方創生・地域活性化への貢献	
<p>■SDGs推進委員会 上勝町SDGs推進委員会を新設し、委員は町内の民間企業、役場職員から公募により選出。2030年の上勝町のビジョンをSDGsを活用し再構築している。ビジョン作成時から民間企業と取り組むことで実施時にスムーズに移れる体制を構築している。オブザーバー参加も許容し、後乗りも許容することで今後の展開にも幅を持たせている。</p>	<p>■住民の主体性の向上 地方創生には住民の主体性がなければ持続しない。上勝町では主体性を尊重し、SDGs推進委員会が住民のところに周り、「上勝町に増やしたいものは何ですか」と問いかけをして回っている。問われた住民は自然と上勝町のことを考えるので、町について考えるきっかけをつくっている。SDGsはきっかけ作りや、ステークホルダー作りのツールに過ぎず、上勝町では住民の主体性から出たものを行政がサポートする形で昇華させ真の地方創生に貢献していく。</p>	

1. 全体計画

取組名	ターゲット	指標名	当初値	2018年	2020年	達成度 (%)	進捗状況や課題等 (定性指標や補助指標等を含む)	
自治体SDGsの推進に資する取組の2020年のKPI	2,3 2,4 3,4 4,4 6,6 8,9 15,2	①彩山 (いろどりやま)を活用した産業振興事業	いろどり山ラボへの参加者数	2015年9月~2018年3月 421名	2015年9月~2019年3月 1,331名	2020年 1,000名	157%	企業の新人研修に活用したり、ヘルスツーリズムをしたり彩山フィールドを活用した取り組みが稼働し始めた
		いろどり山ラボの売上創出額	2015年9月~2018年3月 243,940円	2015年9月~2019年3月 14,350,875円	2020年 16,000,000円	90%	間伐材を木糸に加工し、タオルなどの新商品開発に取り組み、商品が完成したため、徐々に売り上げを伸ばしている	
		農林業関係者の移住者及び彩関連ビジネス創出者数	2015年9月~2018年3月 2名	2015年9月~2019年3月 2名	2020年 10名	0%	彩山でフィールドプログラムなど新規就農者獲得に向けた研修を行った	
	②ゼロ・ウェイストブランドを活用したサステナブルセンターの自立型運営新組織創造事業	9,4 11,c 12,5 12,a 17,7 17,17	ゼロ・ウェイストに呼応する企業誘致数	2015年9月~2018年3月 4社	2015年9月~2019年3月 4社	2020年 10社	0%	新ゴミステーション建設によりシェアオフィスなどを併設し受け入れ体制を強化している
			ゼロ・ウェイストブランドの効果による新規来町者	2015年9月~2018年3月 11,000人	2015年9月~2019年3月 24,834人	2020年 30,000人	73%	ゼロ・ウェイストブランドを行政視察以外にも幅広く活用できるようコンテンツを増やしている
			誘致企業による経済効果	2015年9月~2018年3月 6,253万円	2015年9月~2019年3月 11,419万円	2020年 15,000万円	59%	ゼロ・ウェイストブランドによる起業により新たな経済効果を生み出している
	③自治体広域連携による「ローカルベンチャー」推進事業	4,4 8,3 8,9 17,17	ローカルベンチャーによる売上規模	2015年9月~2018年3月 24,900万円	2015年9月~2019年3月 31,000万円	2020年 50,000万円	24%	新たな事業展開のサポートをすることができた
			新規起業家人数及び新規事業創出数	2015年9月~2018年3月 4件	2015年9月~2019年3月 7件	2020年 10件	50%	バックオフィス支援により起業家のサポートをすることができた
			起業家型人材の地域へのマッチング	2015年9月~2018年3月 9人	2015年9月~2019年3月 14人	2020年 15人	83%	都心部とのマッチングイベント等により接点の増加